

「一般財団法人 比較統合医療学会誌」投稿規程

I 編集方針について

1. 本誌は人と動物の統合医療に関するオリジナルの論文を原著、短報、症例報告、Letter、総説・解説等として掲載する。
2. 本誌に掲載する論文は、他誌に未発表のもの、掲載予定でないもの、あるいは現在投稿中でないものとする。
3. 本誌の使用言語は、和文または英文とする。

II 投稿・掲載にあたっての条件

1. 投稿資格

投稿代表者1名は、本会会員であることを要する。共著者は原則として本会会員であることが望ましい。(会員は年会費を完納していること)

2. 著作権

著作権は本学会に所属するものとする。

3. 倫理規定

【1】人体を対象とした研究では、世界医師会のヘルシンキ宣言の中で述べられているように、科学的および倫理的規範に準じていなければならない。被験者には研究内容についてあらかじめ十分に説明し、自由意思に基づく同意を得る。

【2】研究課題によっては、所属施設の倫理委員会またはこれに準ずるものとの承認が必要である。

【3】動物を対象とした研究では、動物愛護の立場から実験計画を立て、全実験期間を通じて適切な飼養管理や処理を行わなければならない。

【4】著者は自らの研究に関する全ての利害関係(資金面での企業の影響、学術研究上の競争など)について公表しなくてはならない。

4. 臨床試験

研究代表者は臨床試験実施の際、あらかじめ UMIN (University hospital Medical Information Network) の CTR (Clinical Trial Registry :

臨床試験登録) あるいは ClinicalTrials.gov に登録しておくことが望ましい。また、ランダム化試験のデザインは、CONSORT 声明 2010 (Consolidated Standards of Reporting Trials: 臨床試験報告に関する統合基準) に基づくことを原則とする。

5. 掲載の決定方法

投稿論文は複数の専門家による査読を行い、編集委員会が掲載の採否を決定する。査読の結果、原稿の修正を求めることがある。再提出を求められた原稿は、返送日(発送した日)から2ヵ月以内に再提出すること。2ヵ月以上を経過して再提出された場合は、新規投稿受付として取り扱われる。掲載は、原則的に掲載の採否が決定した順とする。

III 投稿論文のフォーマット

1. 論文のまとめ方

論文は基本的に、表紙／Title Pages、要旨／Abstract、緒言／Introduction、材料と方法／Materials and Methods、結果／Results、考察／Discussion、結論／Conclusion、助成元／Source(s) of Support、謝辞／Acknowledgement、参考文献／References、図表／Figures and Tables の順に記載する。和文論文では英文の Title Pages と Abstract を、英文論文では和文の表紙と要旨を付ける。

【1】原著

(1) 人と動物の統合医療に関する基礎的研究および臨床的研究で、他の雑誌等に未発表の和文または英文のオリジナル研究論文を掲載する。

(2) 執筆要項

原則として、ワードプロセッサで印字されたものとし、A4 サイズの用紙で 12 ポイント活字とする。英文原稿はダブルスペースで作成する。用紙は、上下約 2cm、左右約 3cm のマージンを設定して、ページ番号は表紙を第 1 頁とし、抄録まで順次記入すること。

図表には頁数をつける。Microsoft Office (Word, Excel, Power Point) 形式ファイルで保存されたものが望ましい。

1) 表紙

論文表題、著者名、所属機関、連絡先(郵便番号、住所、e-mailアドレス)を和文および英文で記載する。所属機関名は研究室名、教室名まで記載する。表題中には略語、商品名等、表題に適当でない言葉は原則として用いない。

2) 要旨

和文は400字以内、英文は280 words以内とする。Vol.26より、構造化抄録 (structured abstract) の形式に変更する。目的/ Objective、デザイン/ Design、患者/ Patients、治療法/ Intervention、実験方法/ Methods、結果/ Result、結論/ Conclusion等、研究内容を簡潔に表現できる形式で記載する。省略語を用いる場合には、最初に正式名を示す。キーワード(5個以内)を記載する。

3) 字数

原則として、本文は文献を含めて9,000字以内、写真・図表は15点以内(刷上がり4頁までが掲載料に含まれる)とする。

4) 文章表記

- 1 原稿は、外国語、外国語名、地名、薬品名は原語のまま用いる。一般に日本語化している外国語は、カタカナを用いてもよい。英数字を用いる場合は半角文字で表記する。
- 2 学名はイタリック体とするか、アンダーラインをつける。
- 3 度量衡の単位は、mm、cm、mL、dL、L、ng、mg、g、kgなどの国際単位系を用いる(半角文字で表記)。年号は西暦で統一する。
- 4 英文中に使用する漢方処方名は、「津谷喜一郎他：漢方処方ローマ字表記法、日本伝統獣医学会誌、19, 2, 21-30, 2011」に従ってローマ字表記し、その後に和文名を併記する。

(例) 小柴胡湯の場合

shosaikoto、小柴胡湯

- 5 生薬は、中国で使用しているものと日本で使用しているものが、同じ名前でも違うものがあるので、使用した生薬名と学名を併記し()内に产地名を入れる。方剤は、方剤名の後に()でメーカー名等を記載する。

(例) 当帰の場合

和文原稿では、“当帰(Toki), Angelica acutiloba KITAGAWA (日本奈良県産、大深当帰), “当帰(Dang-gui), Angelica sinensis (OLIV) DIELS (中国四川省産、帰頭)”のように記載し、英文原稿では、“Toki (当帰), Angelica Radix, Angelica acutiloba KITAGAWA (Nara Pref: Japan, Obuka-Toki),” “Dang-gui (当帰), Angelica Radix, Angelica sinensis (OLIV,) DIELS (Sichuan Prov., 四川省; China, Gui-tou)”のように記載する。

5) 参考文献

引用順に本文と参考文献の頭に通し番号を付して(欧文および和文共に)並べる。ただし、メーカーの発行する販売促進雑誌からの引用は認めない。文中、文献を示す数字は、文中の右肩付きとし、右片括弧に入れる。

1 表題・著者数

文献の表題は、副題も含めてフル・タイトルを記す。参考文献の著者や編集者は、3名まではすべて記載。著者間はコンマで区切る。4名以上の場合には「ら」、または「et al」とする。

2 雑誌

著者名：表題、雑誌名(類似の誌名があるときは発行地、欧文誌名はIndex Medicus採用の略語を使用)、巻、号、起始頁-最終頁、発行年(西暦)。ただし、巻数の記載を欠く雑誌を引用する場合には、巻数の代わりに通し号数または発行年月日を記載する。

例1) 立山一郎：和漢薬と成人病、和漢

医薬学雑誌1, (1), 1-20, 1984.

- 例2) Eisenberg DM, Kessler RC, Foster C et al. Unconventional medicine in the United States. Prevalence, costs and patterns of use. N Engl J Med 328 (4), 246-252, 1993.

3 書籍

著者名: 書名、版数、発行地、発行所名、起始頁-最終頁、発行年(西暦)。

- 例3) 鈴木信孝: 「適切な代替医療」選択のポイント、第1版、東京、日本医療情報出版、71-88、2001.

4 古文献

江戸期以前の図書については、原則として、編著者名、書名、成立年、刊行年(もしくは抄写年)、発行者、発行地、および該当丁(葉)(表・裏)あるいは、頁数もしくは項目名を記し、稀観本については所蔵者名も明記する。

- 例4) 吉益東洞. 藥徵. 1828. 1980. 財団法人漢方医学研究所. 東京. 145-150.

5 その他

現代中国の文献の場合は、日本で使用されている漢字に直して記載する。

6 引用を避けるもの

学会抄録。体験記事。私信。未刊行物。ただし、口頭でなく、文書による通信は本文中(カッコ内)に挿入してもよい。受理されているが、まだ掲載されていない論文は、雑誌名を記して「印刷中」または(in press)とする。投稿したがまだ受理されていない論文は、文献として採用しない。

6) 図表

図表の説明は別紙に記入する。本文中に最初に引用された順番に、図と表に別々の通し番号を付け、各々に短いタイトルをつける。既発表の図(写真を含む)表、その他を引用・転載する場合には、あらかじめ版権所有者の許可を得ること。

7) 著者校正

著者校正は1回のみとする。

【2】短報

- (1) 人と動物の統合医療に関する基礎的研究および臨床的研究で、簡潔な形での報告が可能な、他の雑誌等に未発表の和文または英文のオリジナル研究論文を掲載する。

(2) 執筆要項

- 1) 原則として、本文は文献を含めて6,000字以内、写真・図表は2点以内(刷上がり3頁までが掲載料に含まれる)。

- 2) 要旨は200字以内、Abstractは100 words以内とする。

- 3) 他は原著と同じ。

- (3) 査読を経て、編集部で採否を決める。

【3】症例報告

- (1) 人と動物の統合医療分野の貴重な臨床症例や今後の臨床に活かされる内容で、他誌に掲載されていないものとする。

(2) 執筆要項

- 1) 原則として、本文は文献を含めて6,000字以内。写真・図表は4点以内(刷上がり3頁までが掲載料に含まれる)。

- 2) 要旨は200字以内、Abstractは100 words以内とする。

- 3) 他は原著と同じ。

- (3) 査読を経て、編集部で採否を決める。

【4】レター

- (1) 日常の診療・研究活動上得た体験記事、ヒント、発見、資料・文献紹介など、また、本誌に掲載された論文に対する各種の意見(追加・討議・意見・希望など)を、論文形式ではなく、日常的な文体や文章構成で書いたものとする。

(2) 執筆要項

- 1) 原則として、本文は文献を含めて1,500字以内。写真・図表は1点以内(刷上がり1頁までが掲載料に含まれる)。

- 2) 診療上の体験記事に関しては、必ずしも新知見であることは問わない。構造化抄録の形式を借り、背景・経緯、患者、治療法、結果等の項目に分け、簡潔に記載する。

- (3) 査読はないが、編集部で校閲を行い、採

否を決める。

【5】総説・解説

(1) 人と動物の統合医療に関して、最近における内外の知見を総説的に記述したものとする。著者の原著報告であってはならない。ただし、著者の業績を中心に述べることは差し支えない。原則として依頼原稿とする。

(2) 執筆要項

- 1) 原則として、本文は文献を含めて20,000字以内。写真・図表は8点以内。
- 2) 要旨は400字以内。Abstractは300 words以内とする。
- 3) キーワードは10個以内で選定し、日本語と英語で明記する。
- 4) 他は原著と同じ。

IV 会報

1. 理事会

主に、本部理事会から会員への活動報告等。

2. 学会各部活動報告

【1】学会の各委員会の活動状況の報告

【2】学会員の動態報告

【3】その他

3. 卷頭言

【1】原則として会長以下、理事等役員が執筆する。

【2】学会のあり方・将来について等、学会の基本的な姿勢を提言する。

4. 紹介

【1】図書や書籍の紹介。

【2】補完代替医学関係の研究施設等の紹介。

【3】その他、国内外の学会の動向等に関する紹介。

【4】原則として、10,000字(刷上がり5頁)以内。刷上がり5頁以内であれば、図・表・写真等も掲載可。

5. 会長講演・特別講演・教育講演・シンポジウム
これらは、いずれも学術集会の際に行われた講演やシンポジウムを学会誌に再録するものである。原則として依頼原稿とする。

V 掲載料および図版作製・別刷作製

掲載料金は、筆頭著者が本会会員の場合は20,000円、それ以外の場合は30,000円を徴収するものとする。論文の種別によって掲載料に含まれる刷上がり頁数および図表・写真の点数が決められている。それを超過した場合は、超過料金を徴収する。また、特殊な図表・写真についても点数に関係なく実費を請求する(通常の印刷費以外に費用を必要とする場合をすべて含む)。図表・写真は原則として、そのまま写植して掲載できる見やすいものとする。英文投稿の場合は、別途実費を請求する。

頁超過料金: 1頁につき15,000円

図表・写真超過料金: 1点につき3,000円

図版作製: カラー印刷、トレースまたは修正を要したものは実費を請求する。カラー印刷に要する料金は、A4 1頁ごとに80,000円とし、1頁以内にカラー図表・写真が3点以上ある場合は、別途1点あたり4,000円を加算する(いずれも消費税は別途加算)。

別刷作製: 別刷の申し込みについては著書校正の際に、別刷申込書にて問うものとする。

VI 原稿送付先

書留郵便またはメールで下記まで送付すること。

【送付先】〒174-0051 東京都板橋区小豆沢2-9-19

一般財団法人比較統合医療学会事務局 宛

電話: 03-5915-5308

e-mail: scim@tasp.co.jp